



本店全景



上空から見た長岡市街

刊行にあたって

当行の前身銀行である、第六十九国立銀行が明治11年12月20日に誕生して以来、昭和62年12月20日をもって創業110年を迎えることができました。

この間、昭和55年9月『創業百年史』として、一世紀の歩みを刊行いたしました。このたび『創業百年史』の追補として、昭和54年4月から昭和63年3月に至る推移をまとめさせていただきました。

ご高承のとおり、昭和50年代から60年代にかけて、日本経済は二度にわたる石油危機を契機に、エネルギー多消費型から省エネルギー型へ、重厚長大から軽薄短小へと産業構造の転換を余儀なくされました。加えて、貿易摩擦の激化・円高の進行により、日本経済の流れは、内需中心型へと激しく動いております。こうした経済・産業構造の変化を背景に、銀行をとりまく経営環境も一段と厳しさを増しており、さらにはリスク管理の強化、自己資本比率規制など、新たな対応を迫られる課題が山積しております。このような環境のなかで、地方銀行として当行が果すべき役割は、ますます大きくなりつつあります。

当行は、新しい時代にふさわしい、地元銀行としての社会的責任を全うす



るため「広く金融サービスを提供し、顧客に信頼され、役に立つ銀行として、地域社会の発展に貢献する」を行是といたしました。私どもは、110年の歴史を糧として、確かな展望のうえに立って、困難な時代に対処してまいり所存であります。

この小史をご高覧たまわり、当行に対するご理解を深めていただきたくお願い申し上げます。あわせて従前にも増して、一層のご支援、ご愛顧をたまわりますようお願い申し上げます。

昭和63年6月30日

頭取 中山 喜

現役員



監査役 鈴木吉男
 取締役 黒崎信栄
 取締役 若山光雄
 取締役 山崎淳一
 取締役 金子幸治

常務取締役
 高田正一

専務取締役
 岡田富雄

取締役会長
 渡邊健三

取締役 渡辺芳夫
 取締役 高木克祐
 取締役 小坂桂吉
 常勤監査役 近藤庄平
 監査役 河内喜一

取締役頭取
 中山真

常務取締役
 長谷川省吾

常務取締役
 田中一郎

行 是

北越銀行は

広く金融サービスを提供し

顧客に信頼され

役に立つ銀行として

地域社会の発展に貢献する

行 訓

一、目標に向かって力を合わせよう

一、積極的に行動しよう

一、信頼と期待にこたえよう

一、自己啓発につとめよう

一、"ありがとう"をひろげよう